

上尾商工会議所 創立50周年 記念鼎談

50th
Anniversary

半世紀にわたり、脈々と
受け継がれてきた

大いなる使命と役割

上尾商工会議所は、1968年(昭和43年)、県下で14番目の商
工会議所として誕生しました。

埼玉国体(第22回国民体育大会秋季大会)を前後して商工会
議所設立の機運が盛り上がり、商工会を発展的に解消して、
同年3月に創立総会を開催。同年7月に正式発足し、「上尾
商工会議所発足記念式典」が盛大に開催されました。会員
数1028名による新たな船出でした。

そこで今回は、創立50周年を記念して、会頭経験者でもあ
る富永建顧問と小谷仁顧問のおふたりを迎え、神田博一会
頭との鼎談を掲載します。進行役は、三井田晴宏専務理事
が務めました。



▲上尾商工会議所(商工会館)・応接室にて。(左から)三井田専務理事、神田会頭、富永顧問、小谷顧問



▲当時の上尾市文化会館で開催された発足記念式典の会場風景。
式典に合わせて、物産展も併催されました

あぴおヒストリア～あの日あの時～

- 本紙「あぴお」の起源でもある「上尾商工会議所報」は発
足から2カ月後の1968年(昭和43年)9月に発行。1970
年(昭和45年)4月に「上尾商工会議所ニュース」として
新創刊されました。その後、「商工情報」を経て、現在の
「あぴお」が2003年(平成15年)4月に創刊されました。
- 創立10周年の1978年(昭和53年)2月、前年12月に完
成した商工会館(上尾商工会議所の建物)が会員大会で
お披露目されました。

■上尾商工会議所は、会員事業所への経営支援はもと
より、地域社会のための総合経済団体として1968年(昭
和43年)7月1日に正式発足しました。その礎には、日
本の資本主義の父と謳われた郷土の偉人・渋沢栄一翁
(日本商工会議所創始者の1人、東京商工会議所・初代
会頭)が提唱した「道德経済合一説」の経営理念が流れ
ています。発足以来、さまざまな事業活動を展開して
きましたが、富永顧問、小谷顧問のおふたりに、会頭
在任中の「印象深い事業活動」についてうかがいます。

富永 2002年(平成14年)10月、次代の上尾を担う人材
育成を目的に「上尾未来大学・聚正義塾」を開校しまし
た。そして、創立35周年を迎えた2003年(平成15年)4
月、それまでの「商工情報」と、会員事業所向け「チェン
バー・ニュースパック」を統合して、本紙「あぴお」が創
刊されました。じつは、その前年の12月にはモデル紙
(B4版・12ページ)が発刊されたんですよ。同じく2003
年には、全国に先駆け、企業等OBによる「上尾地区ビ
ジネスキャリア・エンジョイ・サークル」(通称・アブセッ
ク)を組織し、中小企業庁の全国モデルケースとして高
い評価をいただきました。

■上尾市内プレミアム付商品券発行业に着手したもの、

富永会頭時代です。1999年(平成11年)11月、2000年(平
成12年)11月に「元気アップ商品券」を発行しました。

小谷 その後、アッピー・スマイル商品券が2009年(平
成21年)5月に発行され、消費動向の喚起と地域活性化
に大きく貢献しました。2011年(平成23年)11月には、「東
日本大震災復興支援付き・アッピー商品券」が発行され
ました。私が会頭に就任した翌年・2008年(平成20年)
は創立40周年で、その記念事業として、渡邊美樹さん
(当時：株式会社ワタミ・代表取締役社長・CEO)による
特別講演会や「上尾一店逸品運動」などが開催されまし
た。創立45周年の2013年(平成25年)には、6月に上尾
メディックス(現・埼玉上尾メディックス)の後援会が発足、
10月には「AGEOまちフェス」が初開催されました。長年
にわたり要望活動を展開してきた上尾道路(I期：小敷
谷～川田谷)が、2016年(平成28年)4月に開通しました。

富永 商工会議所は、上尾市地域で「ただ1つの総合
経済団体」。「市民の意見を吸い上げて、市に提言する」
ことも使命の1つです。提言・要望活動は連綿と続け
られていますが、現場と周知し合っている職員が原動
力となっている。そういう意味でも、上尾商工会議所の
職員は「プロ」ですよ、みんな。 <次ページへ続く>

神田 商工会議所において、正副会頭や役員・議員は会員(商工業者)の代表として、運営に参画し中心的役割を担っています。一方で、自分たちの本業もあって専従ではありません。職員のみなさんには経営指導員などアドバイザーとしての能力をさらに高め、きめ細かいサービスや事業活動を推進してくれることを期待しています。

時代とともに変化する ビジネス形態

■1970年(昭和45年)には製造品出荷額で川口に次ぐ県下第2位の工業都市だった上尾ですが、最近では厳しい状況です。商業に至っては物販関連の小売業が苦戦を強いられ、店舗を持たないネット通販等が隆盛となるなど、事業の多様化というか、時代とともにビジネス形態も大きく変化しています。どこに事業所があるのか、実態がつかみきれないのが現状です。

小谷 先日、経団連がデジタル省の創設を提言したというニュースがありました。知的財産権も含めて、IT関連を統括していくという案です。流れとしてはそこでしょうね。

富永 組織率ってあるでしょ？ 私が会頭に就任したときの会員数は3000を超えていて、組織率は52%でした。組織というのは維持するのが大変。会員拡大をするといってもなかなか大変なわけです。これは、上尾商工会議所だけのことじゃないと思うな。

■富永会頭の頃は4000会員を目指していました。小谷 会頭時代も2800会員のときもありましたが……。

小谷 神田会頭が副会頭時代に、支部活動を通じて会員拡大に尽力されて、私、すごく助かりました。あれで、かなり現状維持が続いたでしょう？ 地元の情報は、地元の会員さんでないと分かりませんからね。

神田 会員事業所には商業と工業、そしてサービス業の形態もあるけれども、どうやって商業者を応援したらよいのか……。ドラッグストアなどの中型店でさえ



神田 博一 会頭

第7代会頭

2016年(平成28年)11月就任
～現在に至る



富永 建 顧問

第5代会頭

1999年(平成11年)1月～
2007年(平成19年)10月在任



小谷 仁 顧問

第6代会頭

2007年(平成19年)11月～
2016年(平成28年)10月在任

もネットを使った無店舗販売等を次々と展開しています。これから商業を起業して店を出すこと、そこにお客様を呼び込むという業態は、いくら応援しようとしても知恵の授けようのないくらい、混沌とした世界になってしまっているような気がします。

次代へ——商工会議所は どうあるべきか？

■最後に、上尾商工会議所は、これからどうあるべきか。ご提言をお願いします。

小谷 事業でも、商売でも同じだと思いますが、キーワードは「不」ですね。不便だとか、不都合だとか、不の字が付くことに全部、商工会議所としてのヒントがあり、目指す方向性も出てくると思います。

富永 その「不」を取っちゃえばいいんだな。

小谷 日本の資本主義の構成が変化して「モノ」が溢れすぎている。すべてが在庫になっていて、お金も回らず、モノの価値が下がっています。逆に、人手不足など「ヒト」の価値は上がっている。商工会議所として、「まちのリーダーを育てる」という感覚で、ヒトの

価値を上げるような活動が、これから大事になってくるのではないのでしょうか。中小零細企業でがんばっている職人とか、優秀な人はいますよ、いっぱい！

富永 なかなかいいアイデアがパツと浮かばないんだけど、さっき話にあったように、「現場に出て、現場の話を聞くこと」——それが、やっぱりずっと、上尾の、日本全国の商工会議所に求められていることだと思うな。現場の声を聞くことによって、優秀な人も発掘できる。現場に出なきゃ、なにもできないですよ。

小谷 自動車メーカーでは「三現主義」というんですよ。現地・現物・現実——現場に向かい、現物に直接触れ、現実を捉えることを重視すること。三直三現主義(問題が起きたら、直ちに現場へ行き、直ちに現物を見て、直ちに現象を確認する)ともいいます。まさに、そのとおりですよ、商工会議所の仕事って……。

神田 日本各地で人口減少が懸念されていますが、首都圏近郊にある上尾市は環境に恵まれ、もっと工夫をすれば、たとえ微増でも人口増加できる施策はあると思います。たとえば工業なら、東京・大田区にあるような優れた技術を持つ町工場を誘致するとか……。物事なんでも縮小している世界って、熱が入らないというか、希望とか、将来の展望や可能性は生まれません。

暮らしやすい、働きやすい環境づくりを目指して、上尾商工会議所として、会員事業所に勤める従業員さんたちのお子さんを預かるための保育所運営や、労働力不足解消のための外国人労働者の人たちを結ぶネットワークづくりなどを現在、研究・模索中です。人口減少を食い止めるのは大きすぎる課題かもしれませんが、商工会議所会員の有力企業の力を借りながら、併せて行政にもさらにタイアップしていただきながら、企業内保育所としてなんとかできないかなと……。

富永 実現すれば、商工会議所で全国初の事例だね。

神田 上尾商工会議所の組織力と実行力をもってすれば、どんな課題も実現できる。そう信じています。

▶上尾商工会議所・役員室にて。室内の一角には、敬意を表して、歴代会頭の写真が飾られています。



歴代会頭 一覧

- 初代 三木亦市 会頭
1968年(昭和43年)7月～
1968年(昭和43年)11月急逝
- 第2代 関口博見 会頭
1969年(昭和44年)1月～
1978年(昭和53年)9月在任
- 第3代 星野博三 会頭
1978年(昭和53年)10月～
1989年(平成元年)12月在任
- 第4代 北西兵造 会頭
1990年(平成2年)1月～
1998年(平成10年)12月在任